

2 主要業種の動向

(1) 鉄鋼業

- ① 生産（付加価値額ウェイト981.1 生産19業種中3位）
29年の生産は100.2で、前年比2.7%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、ブリキ・ティンフリースチール、軌条・外輪などが低下したが、
鉄系熱間鍛工品、鋳鋼品などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1071.6 出荷19業種中3位）
29年の出荷は99.4で、同1.8%増と3年ぶりの上昇となった。
これは、鉄鉄、軌条・外輪などが低下したが、
鉄系熱間鍛工品、冷延電気鋼帯などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト3458.7 在庫18業種中1位）
29年の在庫は86.0で、同0.5%減と4年連続の低下となった。
これは、鋼半製品、特殊鋼熱間圧延鋼材などが上昇したが、
鋼帯、冷延広幅帯鋼などが低下したことによる。

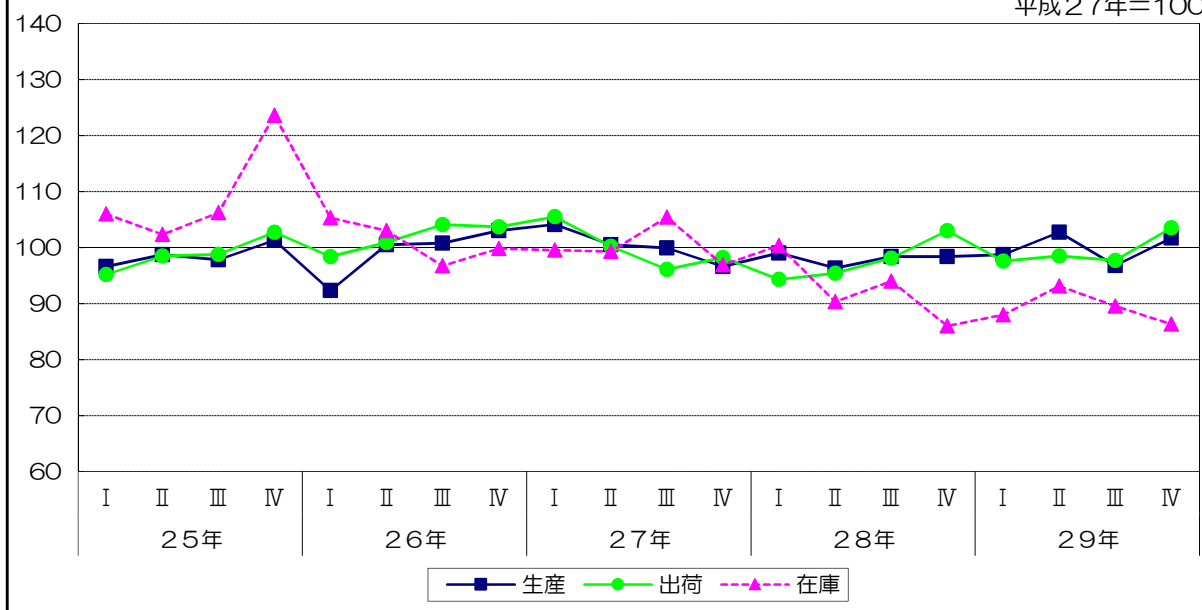
鉄鋼業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	25年	26年	27年	28年	29年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	98.8	99.2	100.0	97.6	100.2	98.7	102.7	96.8	101.7
前期(年)比	-	0.4	0.8	▲2.4	2.7	0.3	4.1	▲5.7	5.1
前年同期比	-	-	-	-	-	0.5	7.3	▲0.8	4.1
出荷	98.8	101.8	100.0	97.6	99.4	97.6	98.5	97.7	103.5
前期(年)比	-	3.0	▲1.8	▲2.4	1.8	▲5.2	0.9	▲0.8	5.9
前年同期比	-	-	-	-	-	2.9	3.3	▲0.1	1.4
在庫	127.9	102.3	98.5	86.4	86.0	88.0	93.1	89.5	86.3
前期(年)比	-	▲20.0	▲3.7	▲12.3	▲0.5	2.3	5.8	▲3.9	▲3.6
前年同期比	-	-	-	-	-	▲12.0	3.3	▲4.3	▲0.5

鉄鋼業の推移（季節調整済指数）

平成27年=100



(2) 金属製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト501.5 生産19業種中8位）
29年の生産は109.4で、前年比2.7%減の低下となった。
これは、ガス湯沸器、鉄骨などが上昇したが、
飲料用缶、鋼管（バンディングロールで成形したもの）などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト287.3 出荷19業種中10位）
29年の出荷は106.2で、同5.1%減の低下となった。
これは、鉄骨、ガス湯沸器などが上昇したが、
飲料用缶、鋼管（バンディングロールで成形したもの）などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト656.3 在庫18業種中4位）
29年の在庫は89.2で、同24.1%増と3年ぶりの上昇となった。
これは、スチール・ステンレス製建具などが低下したが、
飲料用缶、ガス湯沸器などが上昇したことによる。

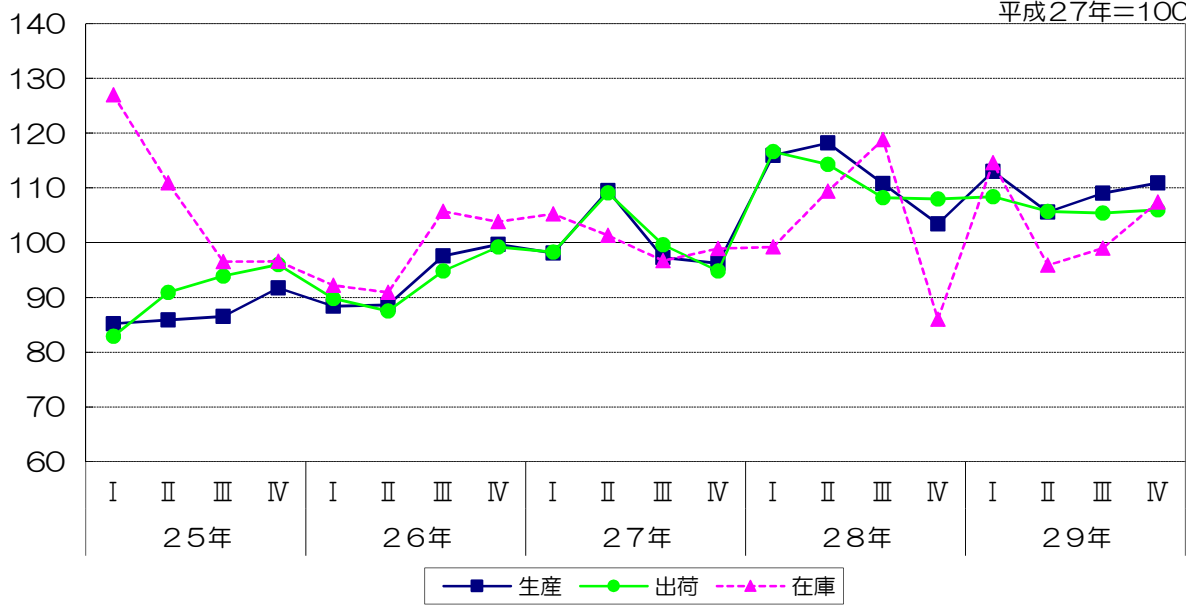
金属製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	25年	26年	27年	28年	29年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	87.2	93.4	100.0	112.4	109.4	113.0	105.6	109.0	110.9
前期(年)比	-	7.1	7.1	12.4	▲2.7	9.3	▲6.5	3.2	1.7
前年同期比	-	-	-	-	-	▲4.5	▲8.8	▲2.9	6.9
出荷	91.1	92.8	100.0	111.9	106.2	108.4	105.7	105.4	106.0
前期(年)比	-	1.9	7.8	11.9	▲5.1	0.4	▲2.5	▲0.3	0.6
前年同期比	-	-	-	-	-	▲9.2	▲5.6	▲3.1	▲2.1
在庫	81.1	87.2	82.8	71.9	89.2	114.6	95.9	99.0	107.4
前期(年)比	-	7.5	▲5.0	▲13.2	24.1	33.3	▲16.3	3.2	8.5
前年同期比	-	-	-	-	-	15.8	▲11.9	▲16.8	24.1

金属製品工業の推移（季節調整済指数）

平成27年=100



(3) 汎用・生産用機械工業

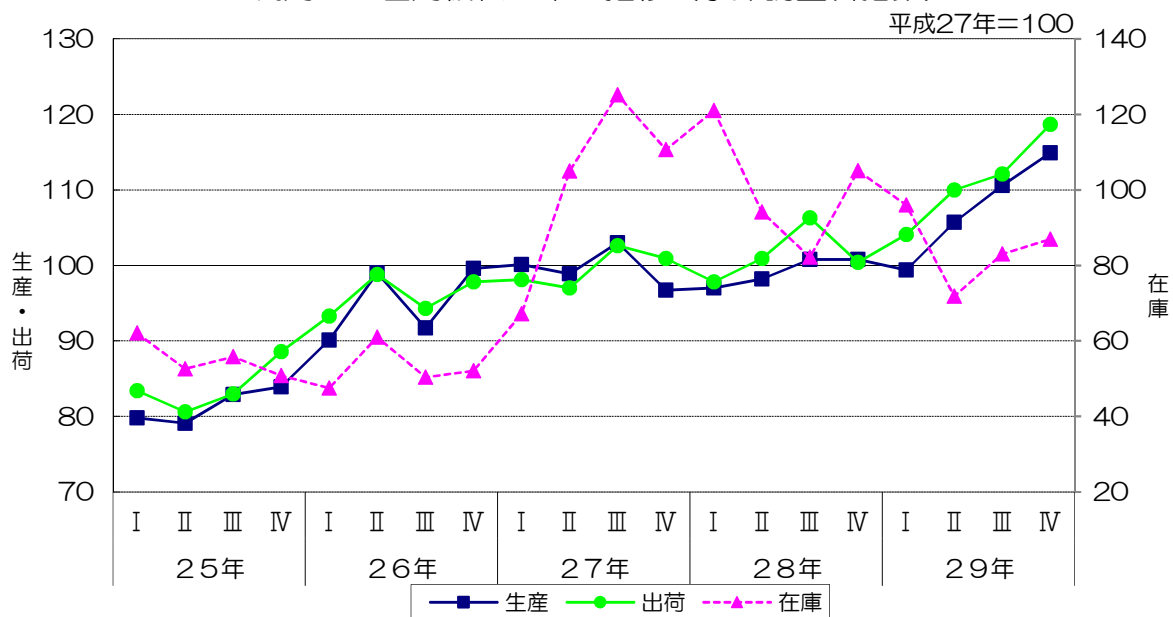
- ① 生産（付加価値額ウェイト832.1 生産19業種中4位）
29年の生産は107.6で、前年比8.2%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、バルブ・コック、超硬工具などが低下したが、
シヨベル系掘削機、数値制御放電加工機などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト551.1 出荷19業種中4位）
29年の出荷は111.0で、同9.3%増と4年連続の上昇となった。
これは、バルブ・コックなどが低下したが、
シヨベル系掘削機、産業用ロボットなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト592.2 在庫18業種中6位）
29年の在庫は91.3で、同15.9%減と2年連続の低下となった。
これは、冷凍・空調用冷却塔、ダイヤモンド工具が上昇したが、
シヨベル系掘削機が低下したことによる。

汎用・生産用機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	25年	26年	27年	28年	29年				
						I	II	III	IV
生産	81.3	95.0	100.0	99.4	107.6	99.4	105.7	110.6	114.9
前期(年)比	—	16.9	5.3	▲0.6	8.2	▲1.4	6.3	4.6	3.9
前年同期比	—	—	—	—	—	2.4	7.9	8.2	14.1
出荷	83.8	95.9	100.0	101.6	111.0	104.1	110.0	112.1	118.7
前期(年)比	—	14.4	4.3	1.6	9.3	3.7	5.7	1.9	5.9
前年同期比	—	—	—	—	—	6.7	9.3	4.1	17.8
在庫	50.3	52.1	112.4	108.6	91.3	96.0	71.8	83.0	86.9
前期(年)比	—	3.6	115.7	▲3.4	▲15.9	▲8.7	▲25.2	15.6	4.7
前年同期比	—	—	—	—	—	▲19.8	▲24.8	1.0	▲15.9

汎用・生産用機械工業の推移（季節調整済指数）



(4) 電子部品・デバイス工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト364.0 生産19業種中12位）
29年の生産は158.4で、前年比59.0%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、音響部品（スピーカ・マイクロフォン）などが低下したが、
トランジスタなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト245.6 出荷19業種中11位）
29年の出荷は170.7で、同67.5%増と4年連続の上昇となった。
これは、音響部品（スピーカ・マイクロフォン）、計数回路が低下したが、
トランジスタなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト155.7 在庫18業種中13位）
29年の在庫は96.8で、同43.8%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、計数回路が低下したが、
混成集積回路、線形回路などが上昇したことによる。

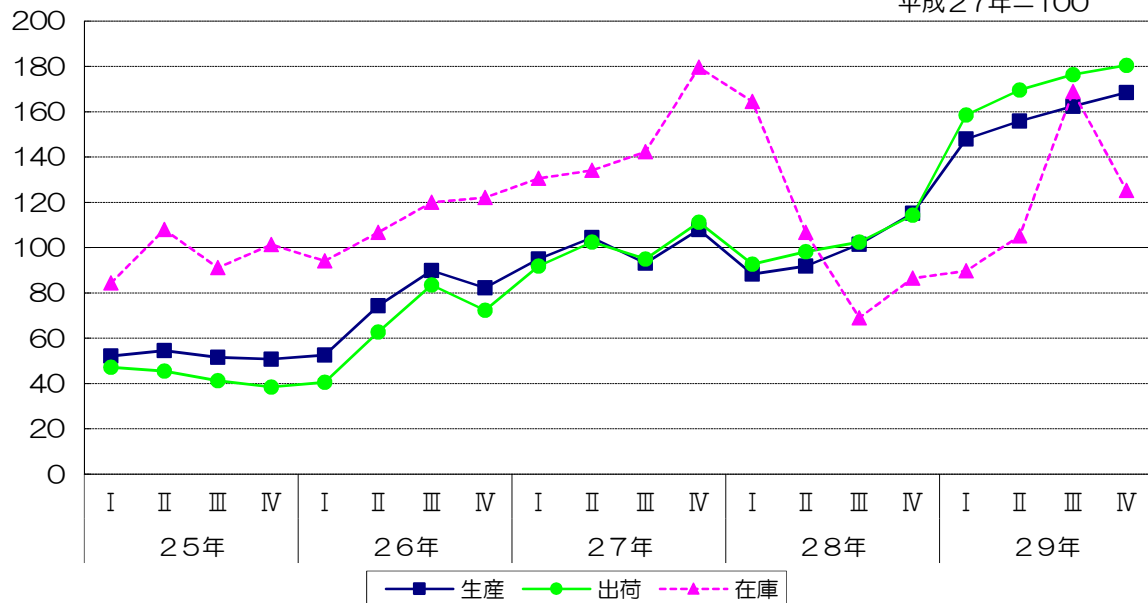
電子・デバイス工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	25年	26年	27年	28年	29年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	52.2	74.8	100.0	99.6	158.4	147.9	155.9	162.3	168.5
前期(年)比	-	43.3	33.7	▲0.4	59.0	28.4	5.4	4.1	3.8
前年同期比	-	-	-	-	-	68.3	70.3	56.9	46.2
出荷	42.8	64.9	100.0	101.9	170.7	158.5	169.6	176.3	180.5
前期(年)比	-	51.6	54.1	1.9	67.5	38.7	7.0	4.0	2.4
前年同期比	-	-	-	-	-	75.2	74.0	68.4	57.1
在庫	77.8	94.9	140.1	67.3	96.8	62.8	73.6	118.2	87.6
前期(年)比	-	22.0	47.6	▲52.0	43.8	3.8	17.2	60.6	▲25.9
前年同期比	-	-	-	-	-	▲45.1	▲4.4	145.7	43.8

電子部品・デバイス工業の推移（季節調整済指数）

平成27年=100



(5) 輸送機械工業

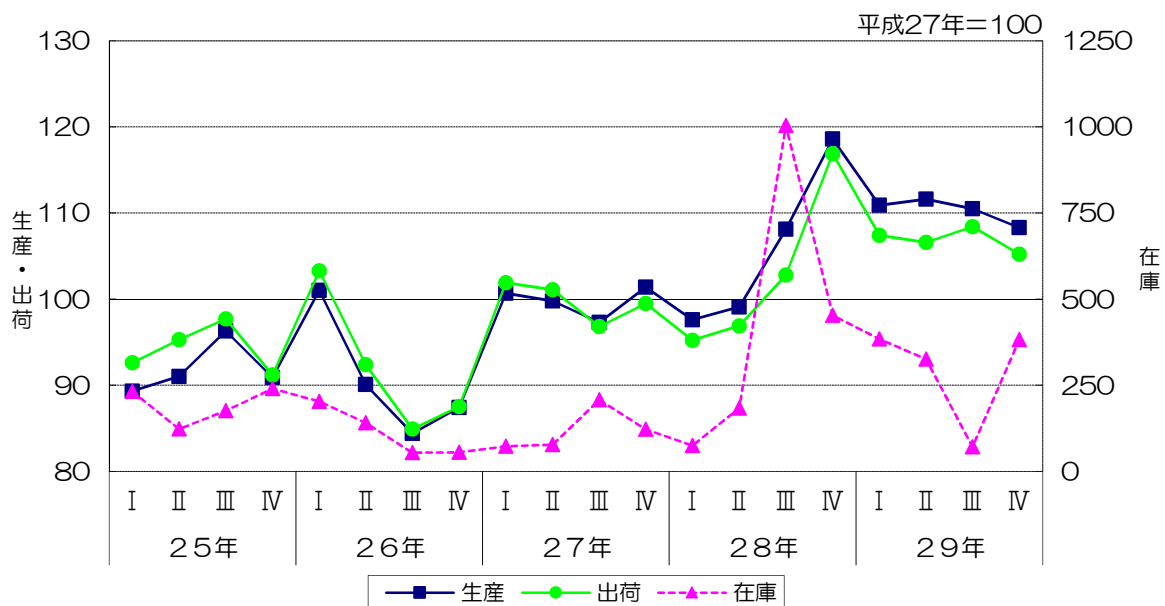
- ① 生産（付加価値額ウェイト2024.8 生産19業種中1位）
29年の生産は110.2で、前年比4.0%増と3年連続の上昇となった。
これは、鋼船修理、エンジンなどが低下したが、
四輪自動車、駆動伝導及び操縦装置部品などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト3996.2 出荷19業種中1位）
29年の出荷は106.9で、同3.7%増と3年連続の上昇となった。
これは、エンジンなどが低下したが、
四輪自動車、駆動伝導及び操縦装置部品などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト289.4 在庫18業種中12位）
29年の在庫は310.4で、同18.1%減と3年ぶりの低下となった。
これは、乗用車用エアコンが上昇したが、
四輪自動車が低下したことによる。

輸送機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	25年	26年	27年	28年	29年	29年			
						I	II	III	IV
生産	91.9	90.7	100.0	106.0	110.2	110.9	111.6	110.5	108.3
前期(年)比	-	▲1.3	10.3	6.0	4.0	▲6.5	0.6	▲1.0	▲2.0
前年同期比	-	-	-	-	-	14.7	11.1	1.3	▲8.1
出荷	94.2	91.9	100.0	103.1	106.9	107.4	106.6	108.4	105.2
前期(年)比	-	▲2.4	8.8	3.1	3.7	▲8.1	▲0.7	1.7	▲3.0
前年同期比	-	-	-	-	-	13.7	8.8	4.5	▲9.4
在庫	238.7	51.8	107.9	379.0	310.4	383.9	325.4	70.6	381.8
前期(年)比	-	▲78.3	108.3	251.3	▲18.1	▲15.2	▲15.2	▲78.3	440.8
前年同期比	-	-	-	-	-	308.4	61.6	▲92.8	▲18.1

輸送機械工業の推移（季節調整済指数）



(6) 窯業・土石製品工業

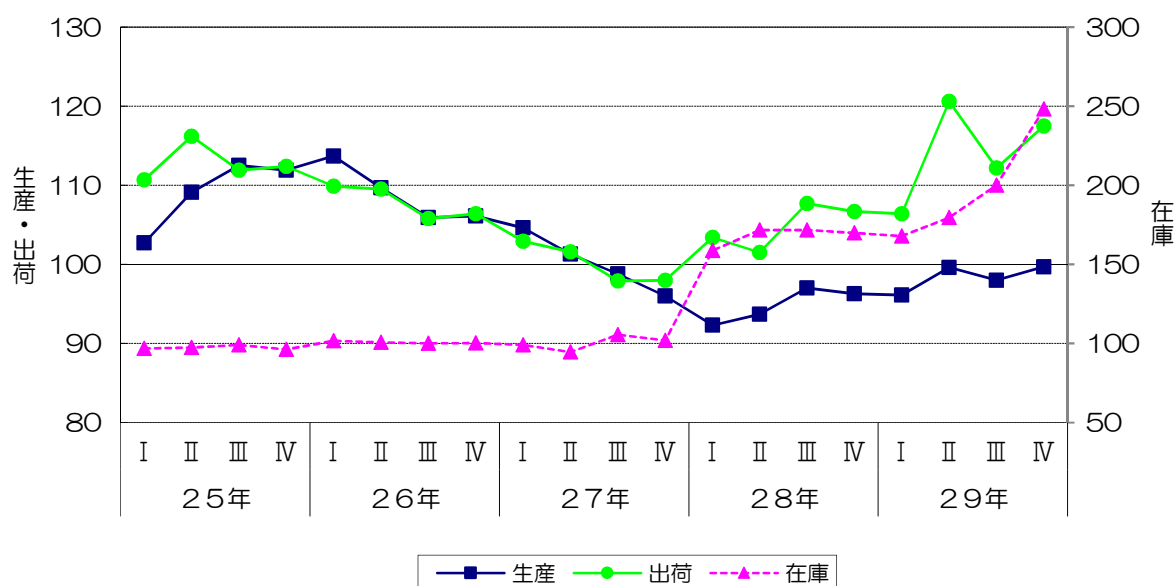
- ① 生産（付加価値額ウェイト593.0 生産19業種中7位）
29年の生産は98.4で、前年比3.9%増の上昇となった。
これは、遠心力鉄筋コンクリート製品、生石灰が低下したが、耐火れんが、ガラス短繊維などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト359.9 出荷19業種中6位）
29年の出荷は114.1で、同8.8%増と2年連続の上昇となった。
これは、遠心力鉄筋コンクリート製品、ガラス製容器類が低下したが、耐火れんがなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト605.4 在庫18業種中5位）
29年の在庫は251.4で、同46.1%増と4年連続の上昇となった。
これは、プレストレストコンクリート製品などが低下したが、耐火れんがなどが上昇したことによる。

窯業・土石製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	25年	26年	27年	28年	29年				
						I	II	III	IV
生産	109.2	108.8	100.0	94.7	98.4	96.1	99.6	98.0	99.7
前期(年)比	-	▲0.4	▲8.1	▲5.3	3.9	▲0.2	3.6	▲1.6	1.7
前年同期比	-	-	-	-	-	3.9	6.7	1.2	3.9
出荷	112.9	107.9	100.0	104.9	114.1	106.4	120.6	112.2	117.5
前期(年)比	-	▲4.4	▲7.3	4.9	8.8	▲0.3	13.3	▲7.0	4.7
前年同期比	-	-	-	-	-	1.7	19.4	3.9	10.1
在庫	98.5	102.3	103.5	172.1	251.4	167.9	179.6	200.0	248.2
前期(年)比	-	3.9	1.2	66.3	46.1	▲1.1	7.0	11.4	24.1
前年同期比	-	-	-	-	-	6.1	4.3	15.8	46.1

窯業・土石製品工業の推移（季節調整済指数） 平成27年=100



(7) 化学工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト728.8 生産19業種中5位）
29年の生産は108.2で、前年比4.8%増と4年連続の上昇となった。
これは、触媒などが低下したが、
ビスフェノールAなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト518.7 出荷19業種中5位）
29年の出荷は116.5で、同2.5%増と2年連続の上昇となった。
これは、ポリカーボネート、触媒などが低下したが、
ビスフェノールA、クレオソート油などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1240.4 在庫18業種中2位）
29年の在庫は86.2で、同5.3%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、ポリカーボネート、カーボンブラックなどが低下したが、
ビスフェノールA、合成染料などが上昇したことによる。

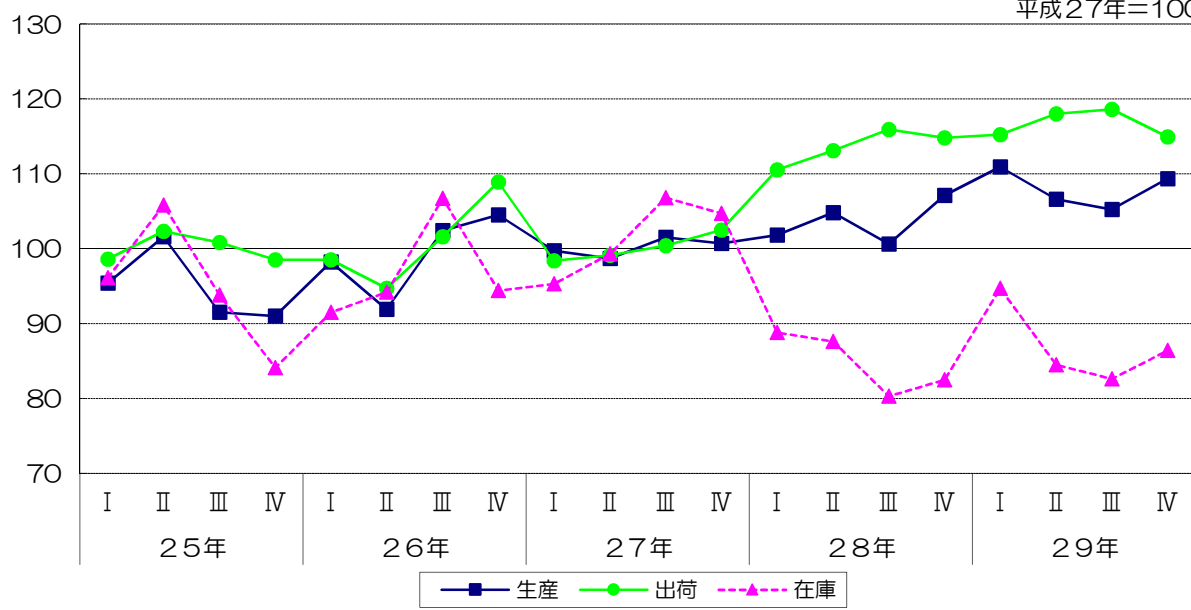
化学工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	25年	26年	27年	28年	29年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	95.0	99.3	100.0	103.2	108.2	110.9	106.6	105.2	109.3
前期(年)比	-	4.5	0.7	3.2	4.8	3.5	▲3.9	▲1.3	3.9
前年同期比	-	-	-	-	-	10.7	1.9	5.0	2.1
出荷	100.1	100.7	100.0	113.7	116.5	115.2	118.0	118.6	114.9
前期(年)比	-	0.6	▲0.7	13.7	2.5	0.3	2.4	0.5	▲3.1
前年同期比	-	-	-	-	-	2.7	4.9	2.4	0.0
在庫	83.5	93.5	103.6	81.9	86.2	94.7	84.5	82.6	86.4
前期(年)比	-	12.0	10.8	▲20.9	5.3	14.8	▲10.8	▲2.2	4.6
前年同期比	-	-	-	-	-	7.4	▲3.5	2.1	5.3

化学工業の推移（季節調整済指数）

平成27年=100



(8) 食料品・たばこ工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト1714.9 生産19業種中2位）
29年の生産は99.5で、前年比2.8%減と3年ぶりの低下となった。
これは、ビール、パンなどが上昇したが、
固形カレー、海苔などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1409.7 出荷19業種中2位）
29年の出荷は99.6で、同2.5%減と3年ぶりの低下となった。
これは、ビール、その他の調味料などが上昇したが、
海苔、弁当などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト821.8 在庫18業種中3位）
29年の在庫は89.2で、同6.9%減と3年ぶりの低下となった。
これは、発泡酒（その他雑酒含む）、砂糖などが上昇したが、
海苔、その他の調味料などが低下したことによる。

食料品・たばこ工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成27年=100

	25年	26年	27年	28年	29年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	100.3	96.9	100.0	102.4	99.5	98.4	100.5	100.0	100.5
前期(年)比	-	▲3.4	3.2	2.4	▲2.8	▲2.1	2.1	▲0.5	0.5
前年同期比	-	-	-	-	-	▲6.4	▲3.3	▲1.0	▲0.5
出荷	100.2	95.8	100.0	102.2	99.6	98.7	99.5	100.1	101.9
前期(年)比	-	▲4.4	4.4	2.2	▲2.5	▲1.1	0.8	0.6	1.8
前年同期比	-	-	-	-	-	▲7.1	▲3.7	▲1.3	1.5
在庫	85.6	81.5	88.6	95.8	89.2	96.1	98.5	102.6	99.2
前期(年)比	-	▲4.8	8.7	8.1	▲6.9	▲10.0	2.5	4.2	▲3.3
前年同期比	-	-	-	-	-	▲5.3	▲0.2	5.7	▲6.9

食料品・たばこ工業の推移（季節調整済指数）

平成27年=100

